

平成31年度

市政運営方針

市が将来にわたって輝き続け、市民が地域に対する誇りや自信を持ちながら、安心して暮らしていただけるよう全力で取り組みます。

問い合わせは、企画課企画担当（☎内線524）へ。

骨格予算

次期市長選に出馬しないことを決断したため、平成31年度当初予算については、義務的、経常的な経費およびすでに着手している継続事業を中心とした、いわゆる骨格予算として編成しました。

新規事業や政策的な判断が必要となる経費などについては、補正予算などの対応を新たな体制に委ねます。

今後の課題

これまで、財政の立て直しを進めながらも、行うべき事業には率先して取り組み、

様々な分野で着実な前進を図ってまいりました。

今後の課題もありますが、残された任期を総仕上げの期間として、最後まで全力で取り組んでまいります。

人口減少対策

本市の人口減少や少子高齢化の傾向は、県内他市と比べるといまだ顕著な状況です。平成28年3月に策定した「桐生市人口ビジョン」に掲げる将来展望の実現に向け、引き続き最重要課題として人口減少対策に取り組まなければなりません。

フルセット主義からの脱却

今後の施設整備などを検討していく際には、公民連携の発想を取り入れながら、適正な規模や機能を追求するとともに、都市間連携を更に強化し、一自治体が全ての住民サ

ービスを担う「フルセット主義」から脱却していかなければなりません。

・選ばれるまちになるために人口減少社会にあっても、市民の満足度や幸福度を維持・向上させるため、これまで先人が築いてきた社会基盤などを生かしながら、市民が暮らしやすい環境を整備していく必要があります。

その良好な居住環境とともに、自然の素晴らしさや織都1300年の歴史・文化などの魅力を「まちの価値」として市民が再認識し発信することで、子どもたちや若い世代、市外の人にも、ほかにはない桐生市の良さが伝わり、やがては「住むなら桐生」と多くの人から「選ばれるまち」へ変わることができます。



屋内遊戯場「キノピーランド」



新桐生駅周辺整備イメージ図



幼児プログラミング体験



サイエンスドクター事業

平成 31 年度予算（骨格予算）の概要

平成31年度の一般会計予算、特別会計予算などについてお知らせします。
 問い合わせは、財政課財政担当（☎内線527）へ。

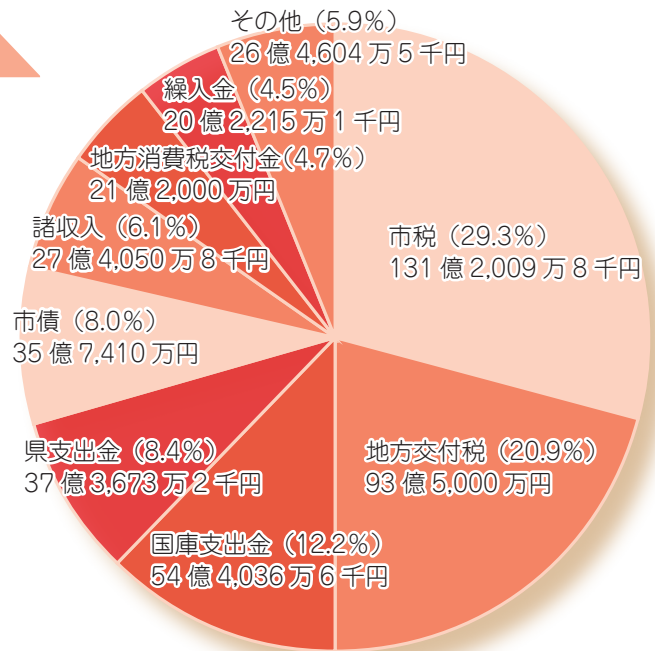
一般会計予算 447億5,000万円 歳入

平成31年度一般会計予算の総額は、447億5,000万円と平成30年度に比べ0.8パーセントの増加となりました。

市税収入は、131億2,009万8千円と平成30年度に比べ約1,800万円の増加を見込んでいます。

●用語の解説

- 市税**＝市民の皆さんから納めていただく市民税や固定資産税、軽自動車税などの税金
- 地方交付税**＝地方自治体が一定水準の行政サービスを提供することができるよう国が交付するお金
- 国庫・県支出金**＝市が行う特定の事業に対して国や県から支出されるお金
- 市債**＝国や銀行などから借り入れるお金
- 諸収入**＝他市から受けるごみ処理や消防などの業務による収入や貸付金の元金収入など
- 地方消費税交付金**＝地方消費税として納められた中から、一定の基準で交付されるお金
- 繰入金**＝基金（市の貯金）や特別会計から一般会計に繰り入れられるお金



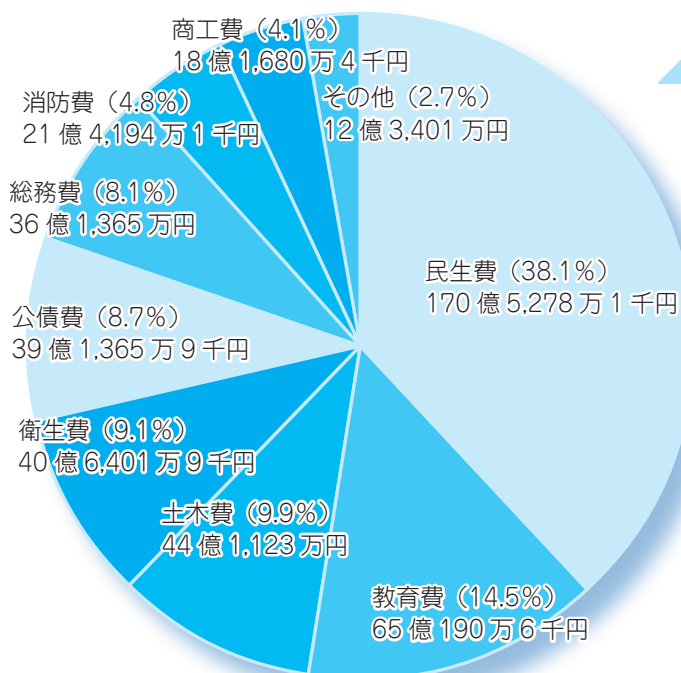
※（ ）内は、構成比。数字は端数処理しています。

歳出

市民体育館の整備などにより、教育費は平成30年度に比べ約11億4,400万円の増加となりました。

●用語の解説

- 民生費**＝福祉の充実や子育て支援などの費用
- 教育費**＝学校教育、生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの費用
- 土木費**＝道路や河川、公園などの整備・維持管理費用
- 衛生費**＝健康増進や斎場、清掃などの費用
- 公債費**＝これまでに借り入れた市債を返済する費用
- 総務費**＝市役所や財産の維持管理、戸籍の管理および税金の徴収などの費用
- 消防費**＝災害対策や防災などの安全対策の費用
- 商工費**＝商工業や観光振興などの費用



※（ ）内は、構成比。数字は端数処理しています。

主要事業の予算

元気で活力あるまちづくり

- 商店街活性化施設整備支援【新規】＝ 259 万円
「くろほね・やまびこ」駐車場整備事業【新規】＝ 264 万円
- 企業立地促進助成金(用地取得助成)＝ 4,894 万 1 千円
- 武井西周辺道路整備＝ 2,432 万 1 千円
- 空き店舗活用による新店舗開設支援・創業促進＝ 750 万円
- シティブランディング事業＝ 52 万 6 千円

安心して暮らせるまちづくり

東分署移転整備＝ 1 億 1,572 万円

- きりゅう暮らし応援事業＝ 2 億 4,850 万円
- 桐生厚生総合病院負担金・医師確保対策＝ 10 億 9,910 万 9 千円
- 市民体育館整備＝ 12 億 7,974 万 3 千円
- 陸上競技場整備＝ 2 億 9,680 万 9 千円
- 新桐生駅周辺整備＝ 1 億 1,700 万円

子供のための未来づくり

特定教育・保育施設整備補助事業【新規】＝ 2 億 6,883 万 4 千円

学校給食中央共同調理場整備＝ 3 億 7,077 万 3 千円

- 「子ども家庭総合支援拠点」の運営＝ 563 万 9 千円
- 屋内遊戯場「キノピーランド」の運営＝ 990 万 4 千円
- 中学生海外派遣＝ 661 万 1 千円
- 特色ある教育
 - ・ 未来創生塾支援＝ 383 万 5 千円
 - ・ サイエンスドクター事業＝ 480 万 2 千円
 - ・ 黒保根町国際理解推進＝ 593 万 3 千円

※●がついている事業は、「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる主な事業です。

※数字は端数処理しています。

市民の皆さん 1 人当たりの 目的別予算額

一般会計予算の総額447億5,000万円を平成31年1月31日現在の人口11万1,777人で計算すると、市民の皆さん 1 人当たりの目的別予算額は次のとおりです。

● 1 人当たり40万351円

民生費	15万2,561円	総務費	3万2,329円
教育費	5万8,168円	消防費	1万9,163円
土木費	3万9,465円	商工費	1万6,254円
衛生費	3万6,358円	その他	1万1,040円
公債費	3万5,013円		

※数字は端数処理しています。

特別会計予算

321億1,466万 4 千円 (−0.6%)

学校給食共同調理場事業	7 億2,961万円	(−2.5%)
国民健康保険事業	124億6,355万 7 千円	(−0.8%)
下水道事業	31億5,791万 2 千円	(−2.9%)
介護保険事業	137億3,201万 8 千円	(0.1%)
農業集落排水事業	2 億5,750万 7 千円	(−2.7%)
住宅新築資金等貸付事業	107万 1 千円	(−40.5%)
新里温水プール事業	1,825万 5 千円	(−2.1%)
発電事業	1 億3,980万 7 千円	(2.0%)
後期高齢者医療事業	16億1,492万 7 千円	(0.7%)

水道事業会計予算

45億1,840万 4 千円 (−6.5%)

※ () 内は対前年度増減率。数字は端数処理しています。